



WJF 日本ルイ・アームストロング協会 ワンダフルワールド通信



日本ルイ・アームストロング協会（ワンダフルワールド・ジャズ・ファウンデーション=WJF）2022年7月発行
〒279-0011 浦安市美浜 4-7-15 WJF 事務局 TEL:047-351-4464 FAX:047-355-1004 Email: saints@js9.so-net.ne.jp
ホームページ <http://wjf4464.la.coccan.jp/>
発行人 代表・外山喜雄 編集長・山口義憲 編集 外山喜雄



2021年～22年 サッチモ生誕120年没50年 ダブルアニバーサリー・イヤー
東京新聞 人気コラム『私の東京物語』 朝刊最終面 全12回掲載!!
外山恵子の『おんなは度胸、男は愛嬌!』ストーリーで素敵な締めくり!!
7月にはコットンクラブ出演、8月は外山喜雄・恵子写真展『ニューオリンズ行進曲』中野で開催

永年の活動を支えていただいている、日本ルイ・アームストロング協会会員、並びにジャズファンの皆様、ご協力者、ご協力企業、ご協力団体
デキシーセイन्ツのメンバー各位 理事スタッフの皆様、、、心より感謝申し上げます。

東京新聞 外山恵子「私の東京物語」7月1日12回終了いたしました!?!?! 感謝



皆様の応援で続けてきた“サッチモ一筋”の効果でしょうか！

サッチモの生誕 120 年没 50 年を迎えた昨年、日本国中に『サッチモ』が溢れはじめ、なんと嬉しい社会現象となりました。皆様のご支援のおかげです！6月～7月、東京新聞の朝刊人気コラムに外山恵子が綴る『私の東京物語』が登場。1967年に夫婦で移民船に乗りニューオリンズへ！バンジョーとピアノを演奏、日本ジャズ界の『女性奏者草分け』に近い時代から現在まで“生涯現役”で元気にスウィング中！！『恵子の東京物語』は4頁～9頁に特集いたします。

**NHK 朝ドラ『カムカムエヴリバディー』に日米から感謝状
2月14日日本外国特派員協会で贈呈式
グーグル・ニュースもトップで報道！（NY時事通信発）**

**2月15日『カムカムエヴリバディー』に感謝状の
サッチモハウス部長 リッキーさんグラミー受賞！
時事通信 NY が配信**

【ニューヨーク時事】ジャズの巨匠、故レイ・アームストロング（愛称サッチモ）の日本での人気を高めたとして、ニューヨークにあるサッチモの博物館幹部がNHKの朝の連続テレビドラマ「カムカムエヴリバディー」関係者に感謝状を贈呈する。日本レイ・アームストロング協会の代表、外山喜雄・恵子夫妻の呼び掛けに応じた。日本での再評価だけでなく新たなファンの増加にもつながったことが評価されたようだ。

米の博物館 制作関係者へ感謝状贈呈へ



感謝状を用意したのは、サッチモが住んでいた家を基に作られた「レイ・アームストロング・ハウス博物館」の調査部長で、サッチモの本も執筆したリッキー・リカーディ氏。感謝状には「サッチモの音楽が20世紀の困難な一時期を乗り切る上で役立ったのと同様、このドラマは将来を見通しにくい時期に多くの喜びと希望をもたらしているようだ」と記載されている。

サッチモの出身地である米南部ルイジアナ州ニューオーリンズの「ニューオーリンズ・ジャズ博物館」からも感謝状が届く予定。感謝状は15日に日本外国特派員協会で開かれるイベントで、ドラマの音楽を担当した金子隆博さんらに渡されるという。

サッチモの出身地である米南部ルイジアナ州ニューオーリンズの「ニューオーリンズ・ジャズ博物館」からも感謝状が届く予定。感謝状は15日に日本外国特派員協会で開かれるイベントで、ドラマの音楽を担当した金子隆博さんらに渡されるという。



左からNHK『カムカムエヴリバディー』番組チーフプロデューサー、堀之内礼二郎さん、音楽担当、金子隆博さん 2月15日、日本外国特派員協会で

朝ドラ効果再び日なたに
ジャズの巨匠 サッチモ、日本で人気

【ニューヨーク時事】米国で3日に行われた「音楽界最高の栄誉」グラミー賞の授賞式で、音楽作品の優れたライナーノーツ（解説文）に授与される「最優秀アルバム・ノーツ」賞に、ジャズの巨匠、故レイ・アームストロング（愛称サッチモ）の専門家、リッキー・リカーディ氏が選ばれた。同氏は2月にはNHKの朝の連続テレビドラマ「カムカムエヴリバディー」関係者に対し、サッチモの日本での人気を高めたとして感謝状を贈呈。サッチモファンの中で喜びの声が上がっている。

リカーディ氏は、サッチモが住んでいた家を基に作られた「レイ・アームストロング・ハウス博物館」（米ニューヨーク）の調査部長で、サッチモの本も執筆。今回、サッチモの特集CDセット「コンプリート・レイ・アームストロング・コロムビア・アンド・RCA・ビクター・スタジオセッションズ1946—1966」の3万語に及ぶ解説文で栄冠に輝いた。

日本レイ・アームストロング協会の代表、外山喜雄、恵子夫妻はリカーディ氏を「現在世界最高のサッチモ評論家」と評価。日本でのサッチモ人気の高まりと今回の受賞に触れ「不思議なサッチモのいたずら…。昨年と今年はサッチモの当たり年だ」と喜びをあらわにした。



グラミー賞まで登場！！ オーイエス！！

サッチモの悪戯が止まらない！！

そんな感じですね！



リッキー・リカーディさんの本を愛読する外山恵子。色とりどりのマーカーで線を引いて、、、その本を見たリッキーさん、ユーは、私よりこの本を良く知っている!!!と大喜び！
2015年ニューオーリンズ、サッチモ・サマーフェストで

**サッチモハウスと
ニューオーリンズ・ジャズ博物館から
KADOKAWA と日本通運に感謝状**

1974年から収集、日本ルイ・アームストロング協会例会でも皆様にお楽しみいただいた、16mm ジャズフィルム外山コレクション。昨年、ところざわサクラタウンの角川武蔵野ミュージアムがデジタル化、16mmフィルムとデータを(株)日本通運のご協力にてニューオーリンズ・ジャズ博物館に、データはサッチモハウスのリッキー・リカード氏にも寄贈。

この度、KADOKAWA 角川歴彦会長、日本通運齊藤充社長宛の感謝状がNY、ニューオーリンズから届いた。

ニューオーリンズ・ジャズ博物館長 グレグ・ラムジー氏から
(株)日本通運社長 齊藤充様宛

Mr. Mitsuru Saito
President
Nippon Express Co., Ltd.

Dear Mr. Saito:

Thank you so much for your generous offer to ship the wonderful collection of films and artifacts of Yoshio and Keiko Toyama to the New Orleans Jazz Museum! They have been received in good order and we are thrilled to be able to add these items to our Jazz Collection.

We will be able to use these items, and the digitized copies for research, exhibitions, screenings and more.

We are so very grateful that you made it possible for us to receive this beautiful gift. We are anxious to share it with Jazz lovers worldwide.

Please, if your travels should bring you to our area, I hope you will allow me to give you a tour of our museum.

Sincerely,

Greg Lambousy
Greg Lambousy
Director

THE
NEW
ORLEANS
JAZZ
MUSEUM
Greg Lambousy, Director

**外山喜雄・恵子写真展
「ニューオーリンズ行進曲」**

ルイ・アームストロングを生んだ街 8月開催

2002年に『ニューオーリンズ行進曲』、2008年『聖地ニューオーリンズ聖者ルイ・アームストロング』、2021年『ルイ・アームストロング…生誕120年没50年に捧ぐ』と3冊の夫婦共著本を出版し

外山喜雄・恵子 写真展

ニューオーリンズ行進曲
—ルイ・アームストロングを生んだ街—



Zessei
GALLERY PUBLISHER

ていただいている冬青社(野口奈央社長)の冬青ギャラリー(中野区中央5-18-20)で、1968年から73年のジャズ修行時代、夫婦で撮りためた写真をご覧ください。8月4日～27日(お盆休み11-15日)

tel.03-3380-7123

fax.03-3380-7121

**3年ぶり！ 浅草の女将さん による
夏恒例『浅草ニューオーリンズ・フェスティバル』が復活！！**

コロナの蔓延でニューオーリンズからの来日が中止となっていた、浅草おかみさん会主催『浅草ニューオーリンズフェスティバル』が復活。恒例のトーマス・フィッシャーとニューオーリンズ・ジャズ・オールスターズが来日、外山喜雄とデキシーセイントもゲスト出演、浅草公会堂で8月24日(水)～25日(木)午後2時と6時半、浅草と日本の夏を盛り上げる！今年で34回目の開催となる！サッチモもオー・イエス！

入場料は前売り4000円、当日4500円(ワンドリンク付き、全自由席、入れ替え、税込み)

お申し込みは、ノラミュージック(047-351-4464 外山)迄

**ご寄付と嬉しいお手紙
ありがとうございます**

◆東京九段ライオンズクラブ様(千代田区) 100000円
毎年、ライオンズクラブ様の活動支援、アクティビティとしてご寄付を頂いております。WJF 会員松村善一様ご夫妻、ありがとうございます。

◆山口誠之様(横浜市) 30000円

◆佐藤俊太郎様(ジャズジャパン)

東京新聞に連載されている恵子様の回顧録すごく面白いです。安定した人生をあっさりとして捨ててジャズに身を投じる潔さがかっこよくて素敵です。夫婦の絆があればこそこのジャズ人生、素晴らしいです。

ぜひ奥様によりしくお伝えください。

**在日アメリカ人のTOP文化センター
東京アメリカンクラブ TACTALK 講演好評！**



日本在住のアメリカ人にとって最高の文化施設として知られる麻布の『東京アメリカンクラブ』が、私達とニューオーリンズ武者修行、「銃に代えて楽器を!」の活動、ハリケーン、東日本大震災後の相互支援と子供たちの交流、そしてサッチモ生誕120年没50年の活動に注目。

5月25日、同クラブの大宴会場『マンハッタン』で講演会『タクトーク(TACTALK)』を開催して下さり、私達夫婦での講演とデキシーセイントの生演奏を楽しんで頂きました！・・・昨年10月の日本外国特派員協会に続き、今年も大変光栄な機会を頂きました。こころより感謝。

とやま けいこ
外山 恵子

全 12 話 1

ジャズの聖者に導かれて



みなさま、初めまして。ジャズ奏者で「外山喜雄とデキシシーセインツ」メンバーの外山恵子と申します。
まずバンド名の由来から始めます。デキシシーとは、デキシシーランド・ジャズの略称です。かつてアメリカ南部をデキシシーと呼び、ルイジアナ州のニューオーリンズで二十世紀初めに発達したジャズのスタイルです。ニューオーリンズ・ジャズともいいます。
セインツは聖者です。有名なナンバー「聖者の行進」はニューオーリンズで黒人を葬送する霊歌。地元出身でジャズ界の巨人ルイ・アームストロングが世界中に広めました。ルイの愛称はサッチモ。がまぐちのような大きな口が英語でなまったのが由来です。

愛用のバンジョーと共に笑顔の筆者。壁にサッチモの絵を掲げる＝千葉県浦安市の自宅

リーダーの喜雄さんと夫婦で五年間現地でジャズの武者修行に励み、帰国後の一九七五年四月、わたしたちを中心に六人でバンドを結成しました。
今年で四十八年目を迎え、現在のメンバーはピアノとバンジョーがわたし、歌とトランペットが喜雄さん、トロンボーンが粉川忠範さん、クラリネットが広津誠さん、ベースが藤崎羊一さん、ドラムがサバオ渡辺さんと木村おつじさん。わたしは最年長ながら精神年齢が一番若いと自負しています。
昨年はサッチモの生誕百二十年、没後五十一年の記念すべき一年。そのサッチモの曲が、昨年十一月から今年四月まで放送されたNHK朝の連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」でも登場して脚光を浴びました。その敬愛する聖者サッチモに、わたしのジャズ人生は導かれて、今に至るのです。

1942年、ソウル生まれ。終戦後、朝鮮半島から引き揚げ。早稲田大卒。早大ニューオーリンズジャズクラブで、外山喜雄と出会う。94年、日本ルイ・アームストロング協会を設立。2020年度日本ジャズ音楽協会名誉会長賞。

とやま けいこ
外山 恵子

全 12 話 2

井の頭公園のプール



わたしの旧姓は大和田です。一九一〇年の韓国併合後、旧三井物産社員の祖父はソウル支店で働き、父が生まれます。母も同じソウル出身で満鉄マンの家庭に育ち、その二人が結婚し、四年に長女として誕生しました。
四五年八月の敗戦後、一家は身ひとつで朝鮮半島から北九州市門司港に引き揚げます。杉並区永福町にあった祖父の自宅は米軍機の空襲で焼かれており、宮城県船岡町（現柴田町）にあった祖父の実家に身を寄せました。
長旅では駅の階段で寝たり、汽車がぎゅうぎゅう詰めた幼少の記憶が残っています。それだけにロシアの侵攻でウクライナから避難民になった人びとの姿は身につまされました。
船岡の小学校ではミュージカル劇を演じました。父は東洋棉花に勤め、武蔵野市内の社宅に入るこ

かつてプールが近くにあった井の頭公園井天橋の水辺＝武蔵野市で

とになり、小学三年から同市立第三小学校に転校します。東京に行く送別会で担任の先生が映画に連れて行ってくれました。
それはデイスニー製作の「南部の唄」。南部の農場で白人の少年と黒人のリーマスおじさんのふれあいを描いた物語。実写ですが、おとぎ話のときにカラーアニメとなるミュージカルファンタジーで感激しました。
リーマスおじさんは、のちに出会うジャズの「サッチモおじさん」のように、いま思うと不思議な偶然です。
夏の思い出は、吉祥寺駅に近い井の頭公園のプールです。地下水を使った水はとても冷たく、長く泳いでいられませんが、母と一緒に新宿や銀座の百貨店で買い物をするのも楽しみでした。その母の勧めで四谷の雙葉中学を受験して合格し、そこでピアノと出会うことになりました。
(ジャズ奏者)

四谷の雙葉中 音楽に魅了され



四谷の雙葉中学校時代、ラジオで洋楽を聴きました。エルビス・プレスリーのロックなどが流れてくる中に「アイズ・クリーム」というスリリングでスイング感ある曲がありました。ニューオーリンズ出身の有名なクラリネット奏者ジョージ・ルイス楽団のジャズ演奏です。彼のバンドで活動するパンシヨウ奏者ローレンス・マレローの真骨頂の曲「世界は日の出を待っている」も驚きでした。

裕福な家庭の友人が多く、ピアノを弾いています。家では足踏みオルガンで練習していましたが、ピアノのある家が憧れでしたね。父にピアノを買ってほしいとお願いすると、「勉強で一番になれば」と言われました。頑張ったら本当にクラスでトップの

四ツ谷駅近くにある雙葉中学・高校＝千代田区で

成績です。帰宅して会社の父に電話をすると「あっ、そうか」。すぐにアパートが家にやって来ました。ピアノは生涯の「同伴者」となります。友人の中に指揮者岩城宏之氏の妻でピアノリストの木村かをりさん、バイオリンリストの故潮田益子さんがいます。雙葉はカトリックですが、わたしの音楽的志向はニューオーリンズのバプテスト、プロテスタント系でした。数人の友人が雙葉高校に進まず、わたしも都立立川高校に入學しました。

一月後、父が大阪へ転勤となり、一家は兵庫県西宮市に移り、県立西宮高校に転校しました。在学中は美術部に入り、油彩画や日本画に励みます。大学は美術で東京芸大を志望しますが、母が反対するし、一方の父は英語を学ばせたかった。そこで慶応と早稲田の文学部を受験して合格。結局、早稲田文学部美術史専修に進みました。

(ジャズ奏者)

水道橋のジャズ喫茶で初デート



早大に入學し、再び武蔵野市に住みました。吉祥寺駅から電車で通う中、立川高校の先輩に会い、ニューオーリンズジャズクラブに誘われます。

創部は一九五七年。ジャズピアノに興味を抱き、五期生として入部しました。五十人近い大所帯で、女性が三人入りましたが、間もなく紅一点に。入部を知った明治生まれの父は、ジャズは「不良の音楽だ」と怒り、一年の夏合宿は許してもらえませんでした。

練習場所は戸山キャンパス体育館裏の「音楽長屋」です。複数の音楽サークルとの共用で時間制約があり、高田馬場駅近くのスタジオも借りました。練習以外は、学生街の喫茶店「ぶらんたん」がたまり場です。コーヒーが一杯五十円。店にクラブの連絡ノート

早稲田大学の近くにある喫茶店「ぶらんたん」＝新宿区で

を置いてもらい、苦いコーヒーを飲みながら先輩方からジャズのレコードや演奏家の話に耳を傾けました。この店は今も「心のふるさと」です。

六三年の大学三年時、「大和田さん、外山さんから電話です」。女性店員から受話器を受け取ると、一年後輩の喜雄さんが水道橋のジャズ喫茶「スイング」にこないかと言つのです。

店は駅そばの神田川沿いにあり、他に誰もクラブの人がいません。席に着くや、「何にする?」と聞かれ「コーヒーとトースト」と言うと、「違つ。レコードのリクエストだよ」と喜雄さん。ジャズ喫茶は初めてで、赤面しました。これが二人の初デート。有名なスイングは八五年に飯田橋に移転して営業し、九一年に閉店しました。

六三年にはジョージ・ルイス楽団が初来日。東京厚生年金会館ホールでの公演を二人で聴き、本場のジャズに酔いれました。

(ジャズ奏者)

次は6月21日に掲載します。

私の東京物語

とやま けいこ
外山 恵子

全12話

5

下北の勤め先辞め夫と米へ



サッチモことルイ・アームストロング楽団は一九五三年に初来日し、さらに六三、六四年と三度、日本で演奏旅行をしています。
大学四年の六四年十二月。早大ニューオーリンズジャズクラブのわたしのグループが演奏で四国に行くことになり、その直前に京都公会館でサッチモの公演が開催されます。別のグループの喜雄さんがバンドボーイを名乗って同行し、一緒に聴きました。
公演後、二人でサッチモの楽屋を探して、ドアをたたくと「OK」の声。喜雄さんはすうすうしく部屋に入っていきました。わたしは「失礼だ」と遠慮し、外で待っていました。一瞬、音が聞こえ、その後、彼は夢心地のボーッとした顔で出てきました。「ルイのトランペットを吹いちゃったよ」。わたしは

「ぶらじる丸」船上でパンジューを練習する筆者—本人提供

しは変な常識にとらわれ、「聖者」と面会する一度きりの機会を逃しました。いま振り返っても残念で悔しい思い出です。
卒業後、下北沢の国際英会話学院で働きます。一年後の六六年、喜雄さんが損保会社に就職し結婚。ニューオーリンズから来日したバンドと交流、自宅に招いたりする中で、会社員人生はわたしたちの行く道ではないと考え、喜雄さんの背中を押ししました。「ジャズの聖地に行きましょう」。ずっと「女は度胸、男は愛嬌」の夫婦ですが、その時も武者修行に懸けます。
二人は会社を辞め、六七年十二月三十日、ほぼ最後の南米への移民船「ぶらじる丸」で横浜港を出航。十五日間の船旅でロサンゼルスからアメリカに上陸し、憧れのニューオーリンズにやってきました。(ジャズ奏者)

私の東京物語

とやま けいこ
外山 恵子

全12話

6

聖地で巨人と共演



一九六八年一月末、ジャズ発祥の地ニューオーリンズで修行が始まりました。ジョージ・ルイス楽団の大阪労音公演でチューバ奏者のアラン・ジャックフェと知り合い、「僕を訪ねて来い」と誘われたのです。彼は有名なライブハウス「プリザベーション・ホール」を営んでいました。
案内された裏手の部屋は汚くて、泣いてしまいました。掃除してきれいにしていると、ライブの音が聞こえます。本場のジャズが一番近くにあることは、やがて最高の部屋となりました。
ホールのカギを渡され、昼間の空き時間、時に真夜中が練習スタジオとなり、多くのミュージシャンとジャム・セッションでも鍛えられました。二度渡米し、計五年間、ホール

ジャズ修行時代の外山喜雄さんと筆者—本人提供

に通います。わたしはピアノよりもパンジューに専念しました。忘れられないのは、クラリネット奏者の巨人ジョージ・ルイスとのライブ共演です。
その夜の最後の曲「赤い翼」は美しくスイングします。「君はよいパンジューを弾くね」と一言。これがルイスの最後の演奏となり、六八年十二月に六十八歳で亡くなりました。
心残りには、サッチモの演奏を一度も聴けなかったこと。七一年七月、ニューヨークの自宅で天国へ旅立ちます。享年六十九。故郷ニューオーリンズでのジャズ葬儀には四万人が参列し、わたしたちもそこに加わりました。
英国人ドラマーのパリー・マーチン・バンドの欧米ツアーに夫婦で参加しました。七二年にかけて一年間、ワゴン車で六人の男たちとストゥークス一つで町から町へ。当時二十九歳、若さゆえの修行でした。(ジャズ奏者)

81年 八重洲でサッチモ祭



ニューオーリンズ修行中の一九六九年に一時帰国し、初めてのりサイトルを開きました。会場は新宿にあった東京厚生年金会館。ジョージ・ルイス楽団公演に感激し、ジャズの道に進む一つのきっかけとなった場所です。

わたしたちは小ホールでしたが、マイク真木、前田美波里ご夫妻をゲストに迎えました。二回目の帰国りサイトルは七三年、今度はJR有楽町駅前のよみうりホールです。日本のジャズ・トランペットの先駆者、南里文雄さんと共演し、千人近いジャズファン皆さまに楽しんでいただきました。

サッチモとトランペッターのルイ・アームストロングが亡くなったから、ちょうど十年の八一年七月。東京駅八重洲口・大丸東京店の屋上ビアガーデンでジャズライブのサッチモ祭を始め、盛況で

2017年、都内でヘレン・メリルさん(左から2人目)と交流する筆者夫妻(右2人)。左端は医師でジャズ評論家の中村宏さん=本人提供

した。サッチモが大好きなイラストレーターでジャズボーカリストの水森亜土さんも毎年歌ってくださいました。サッチモ祭は真夏の恒例となり、会場を東急百貨店日本橋店(現コレド日本橋)に移し、再び大丸、さらにサッチモビルのエビスビル記念館で二〇一四年まで三十四回続けました。

この間、一九九四年七月六日のサッチモの命日に「日本ルイ・アームストロング協会」を喜雄さんと設立。会報を年四回出し、例会開催は六十九回に上り、御茶ノ水のアテネ・フランセ文化センターなどでジャズの歴史やサッチモの活動を紹介してきました。

ハスキーな歌声で「ニューヨークのため息」と称され、来日公演も多かったジャズ歌手のヘレン・メリルさんとも交流しました。(ジャズ奏者)

TDL 奇跡的なご縁



米カリフォルニア州アナハイムは今、大谷翔平選手が活躍するエンゼルスの本拠地ですが、やはり世界一有名な元祖デイズニーランドです。ジャズ修行のためロサンゼルスで下船後に初めて訪れて以来、渡米のたびに寄ってはジャズ演奏を聴きました。

一九八三年、待望の東京デイズニーランド(TDL)が千葉県浦安市の東京湾沿いに開園。バンドの出演が運良く決まり、デイズニー映画「メリー・ポピンズ」の競馬場に出てくるボタンだらけの服のアニメミュージシャン「パーリーバンド」に扮しました。

浦安に移り住み、小学二年の長男の子育てと演奏の両立です。出番は週六日、一日七回とぎついてもありました。ジャズ奏者として食べていったのは感謝の一言。ファンタジーランドの演奏

東京デイズニーランドでジミー・スミスさん(右から3人目)の隣に立つ筆者=本人提供

ショーでは鍛えられました。ぜんまい式のお猿さんがたたくシンバルや、観客から指名した小さい子どもが振る指揮棒に合わせた「ミッキーマウスマーチ」は大受けです。指揮者の姿が愛らしく、泣いている親や観客もいました。ご褒美はボタンです。

のちに園内ニューオーリンズ広場で米ジャズドラマーのジミー・スミスさんと共演するなど、二十三年間、ウォルト・デイズニー翁に仕えました。

今年二月、NHK「あさイチ」で朝のテレビ小説「カムカムエヴリバディ」を特集し、喜雄さんが出演しました。司会の鈴木奈穂子アナウンサーのお母さまがご覧になっていて「あのボタンバンドの方だ!」。頂いた写真はなんとパーリーバンドを指揮する七歳の奈穂子ちゃん。その奇跡的なご縁に驚きました。(ジャズ奏者)

次は6月28日に掲載します。

とやま
外山 恵子

「銃に代えて楽器を」贈る活動

米国で銃乱射事件が相次いでいます。五月は二カ所で児童、黒人ら計三十一人が犠牲となり、痛ましい限りです。容疑者はいずれも十八歳でした。

一九九四年、日本ルイ・アームストロング協会を設立後、何かサッチモの精神を受け継ぐ社会活動はないかと思い巡らせました。彼は一九〇一年、ニューオーリンズの黒人スラム街で生まれました。十一歳の大みそか、銃を空に発砲して少年院に入れられますが、プラスチックでホルネットと出会い、比類なき才能を開花させました。

九二年に起きた米国留学中の高校二年、服部剛丈さん射殺事件もよりまです。銃の氾濫に悩む米国でサッチモの



ように「銃に代えて楽器を」手にしてほしい。だけどジャズの聖地なのに楽器を買えない貧困の子は多い。そこで修行時代の恩返しにと、日本から楽器を

2003年、ニューオーリンズの高校に楽器を贈る外山夫妻＝本人提供

贈る活動に取り組みます。

家庭に眠る楽器の活用を呼びかけると、全国から次々と届きました。知人でベースを弾く室橋幸三郎さんが東京九段ライオンズクラブから百万円の寄付を申し出、新宿の楽器代理店グロバルの福田忠道元社長が破格の値段で新品を提供してくださいました。

九四年のクリスマスに中古・新品三十五点をスラムの子のジャズ教育プログラムにプレゼントしました。活動は順調でしたが、悩みの種が楽器の輸送費です。幸い日本通運が協賛し、船便や陸路のトラックに余裕のあるときに二十年近く運んでいただきました。

多くのみなさんのご協力で贈った楽器は八百五十点を超えます。その「サッチモの孫たち」からはスター奏者も育っています。
(ジャズ奏者)

とやま
外山 恵子

恵比寿で「緊急サッチモ祭」

二〇〇五年八月四日。サッチモの生誕日にニューオーリンズ日本総領事から「サッチモの孫たち」に楽器を贈る活動で外務大臣表彰をいただきました。その月の二十九日、超大型ハリケーン・カトリーナが現地を直撃します。喜雄さんとジャズ祭出演のためロサンゼルスにいましたが、ニューオーリンズ市の八割が浸水被害に遭う様子が刻々とテレビで映し出され、胸を痛めました。贈呈したばかりの楽器も水没してしまいました。

日本ルイ・アームストロング協会は救済寄付を呼びかけます。十月にはサツポロビールの岩間辰志元社長のご厚意で、恵比寿のエピスビル記念館の広場で緊急サッチモ祭を開催。百人を超えるミュージシャンが演奏し、百八十万円の寄付が集まりました。全国からも千三百



2011年4月、贈られた楽器で演奏する気仙沼の「スウィング・ドルフィンズ」と外山夫妻＝本人提供

万円余の義援金が寄せられ、多くの楽器とともに、家や楽器を失ったミュージシャンや学校に届けることができました。

一一年三月、東日本大震災が発生。千葉県浦安市の自宅が液化化現象で傾く中、ジャズの聖地から「今度は私たちが助ける番」と、激励のメールや電話が相次ぎました。「津波で楽器をなくした子どもに贈りたい」とも。

宮城県気仙沼市で四月下旬、被災者支援コンサートが開催されました。しかし、地元の小中学生バンド「スウィング・ドルフィンズ」の約二十人は楽器がなくて出られません。急ぎよ聖地に応援の寄付をお願いしました。当日、新しい楽器を手に演奏したメンバーたちの笑顔が忘れられません。

(ジャズ奏者)

とやま けいこ
外山 恵子

護国寺で「ジャズ葬式」



いま多くの女性のジャズ奏者が活躍していますが、二十代半ばでプロになった頃は皆無に近く、先駆けの一人といわれます。「長年の功績をたたえたい」と元自治大臣で日本ジャズ音楽協会会長の石井一先生、同理事長で元日本レコード協会会長の佐藤修さんから、二〇二〇年度同名誉会長賞を授与されたときは望外の喜びでした。

石井先生はジャズが大好きで、サクスを吹きます。お父さまの廣治氏は日本マーキュリーの社長として戦後のジャズブームに火を付けた方です。

昨年十二月、お世話になったジャズ評論家の瀬川昌久先生が九十七歳で亡くなられました。桜の咲く四月に文京区の護国寺桂昌殿で行われたお別れの会は「ジャズ葬式」となりました。

ニューオーリンズでは、ジャズバンドが賛

「聖者の行進」などの演奏で葬送行進する外山夫妻（前列右）ら＝文京区の護国寺桂昌殿で

美歌を演奏して墓場まで葬送する風習があり、悲しみの葬式が終わると一転、天に召されたことを祝福します。

参列者は帰りに傘や帽子を振り、「聖者の行進」などのビートに合わせて踊ります。桂昌殿では短いながらも本格的な葬送行進をしました。

今月四日には石井一先生が八十七歳で急逝されます。生前、葬式では明るくジャズを流してほしいと望まれて、上野の寛永寺輪王殿の密葬と神戸の本葬で演奏させていただきました。

悲しい訃報は続きます。腎臓移植の先駆者で防衛医科大名誉教授の中村宏先生が八十九歳で逝きました。一九六〇年代にニューヨークに留学しジャズを聴き歩いた体験記を出すなど評論活動もされました。十三日、埼玉県所沢市内であったお別れの会でも演奏してお見送りしました。（ジャズ奏者）

私の

東京物語

とやま けいこ
外山 恵子

全12話

「ジャズの巨人」に巡り合えて



新型コロナウイルス禍で演奏が中止される中、昨年八月、サッチモの生誕百二十年・没後五十年に捧ぐ解説兼自伝を喜雄さんと共著で出しました。

十一月から放送されたNHK連続テレビ小説「カムカムエヴリバディ」は、ラジオ英語講座と共に歩んだ三世代ヒロイン物語。その中でサッチモの名曲「日なたの道を」が流され、再び脚光を浴びました。日本ルイ・アームストロング協会などは今年二月、千代田区丸の内日本外国特派員協会と同番組の音楽を担当した金子隆博さんらに感謝状を贈呈しました。

振り返れば、はや六十年のジャズ人生。わたしの宝物は現役のパンジョーです。修行中に伝説の奏者ローレンス・マレローの奥さまから特別に譲っていたものでした。マレローは病身からジョー・ルイス楽団で来日を果たせず、

「カムカムエヴリバディ」の（左から）堀之内礼二郎チーフプロデューサーと金子隆博氏に感謝状を贈る外山夫妻＝千代田区で

次回は7月5日から。筆者は陸上短距離選手山の縣亮太さんです。

（ジャズ奏者）

日本から来たわたしにその思いを託したでしょう。引退したら古里に帰し、ニューオーリンズ・ジャズ博物館に寄贈するつもりです。

でも生涯現役。八月二十四日と二十五日、浅草ニューオーリンズフェスティバルに夫婦で出演します。浅草おかみさんの富永照子さんが町おこしでジャズの聖地を訪ねて始められ、今年で三十四回目を迎えます。

貧困のどん底、数々の人種差別を乗り越えて自分の才能を磨き、悩み苦しむ世界の人びとに愛を語りかけたジャズの巨人。そんなサッチモと巡り合えたことに、そしてお付き合いいただいた読者のみなさまに感謝を込めて。What a Wonderful World（なんすばらしい世界だろう）!!

元 BMG ビクター、ポニーキャニオン社長、そして日本レコード協会会長を務められ、現在『日本ジャズ音楽協会理事長』でいらっしゃる佐藤修さん。奥様の美智子さんと共に WJF 会員、各方面で大変お世話になっております。佐藤さんのお正月恒例は、サッチモの版画年賀状!!!なんと、40年以上続けていらっしゃるとのこと。先日、町田三田会主催の美術展が神奈川県長津田のミドリ・パークで行われ、佐藤さんの一連の年賀状が美術展の話題となり大好評!!!サッチモも天国から、オーイエス❤️!!!♪ 来年お正月の年賀状が楽しみです。

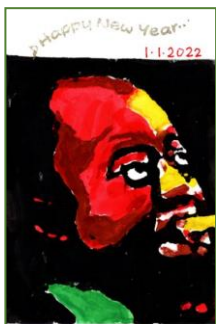
私とルイ・アームストロング 佐藤修

慶応義塾大学 町田三田会会報 2022 年新年号より

NHK の朝のドラマ『カム・カム・エブリボデイ』が人気です。このドラマの前半部分では、ルイ・アームストロングが大きな地位を占めていました。

主人公の一人の名前が(るい)といいますが、これはルイ・アームストロングからとったものですし、娘の名前が(ひなた)というのは、劇中で重要な役割を果たしている、ルイの演奏による『On The Sunny Side Of The Street -邦題- 明るい表通りで』からつけられた(日向)です。

番組の影響で彼の C・D が売れており、アメリカのアームストロング協会から NHK に感謝状が届けられ、その模様が外国人記者クラブで外山喜雄さんの講演とともに発表され、NHK FM でアームストロングの特集が 9 時間通して外山さんの出演で放送されたりで、今や小さなアームストロング・ブームです。



私は日本ルイ・アームストロング協会の会員で、この会主催によるルイの命日を中心にニュー・オルリンズで行われるサッチモ(ルイの愛称)フェスティバル、ニュー・ヨークにあるサッチモ・ハウスを訪問し、彼の墓参りに行くツアーに 5 年連続で参加していました。

この時に一緒に参加した、元国務大臣の石井一さんをお願いして、日本ジャズ音楽協会を作り、石井氏が協会長になり、私が理事長になりました。この協会が毎年賞を授与する事になり、第 1 回目のジャズ大賞の受賞者が日本ルイ・アームストロング協会会長で、日本のアームストロングと言われる外山喜雄さんー町田三田会 40 周年の記念大会に出演して頂く予定でしたが、コロナ禍で中止になったのは返す返すも残念でした。

私は中学時代からサッチモが大好きで、S・P を初めとして、彼に関する物を多数蒐集しており、音源で言えば 99 パーセント集めています。又 40 年前から年賀状に彼の版画を彫っています。

アームストロングは 1900 年 7 月 4 日生まれと言われていました。それが後に研究家が彼の洗礼式の書類を発見し、実は 1901 年 8 月 4 日生まれと分かりました。黒人奴隷の子孫で生年月日はいい加減という説もありますが、一つ

にはそれも事実なのでしょうが一事実彼のように独立記念日を誕生日にする黒人は多かったです。しかし洗礼式には正しい誕生日を書いているのですからこの説には疑問もある。どうやら幼くして働く為に一つ年上にサバを読んだというのが真相のようです。

ルイは 1923 年シカゴその後ニュー・ヨークに行きました。これがジャズ史、アメリカ文化にとって大きな出来事だったのです。北部に行った事で、ニュー・オルリンズと違って白人の前で演奏する事になるのです。幼い頃ピストル事件を起こし少年院—ここでコルネット(トランペットの古い形)の演奏技術を学ぶ—に入り、中学も出ていない黒人が白人の前で演奏する為に必要な事は白人に受けることだったのです。

私が学生の頃はジャズに芸術性、純粋性が求められ、黒人には奴隷の悲しみが重要な要素でした。その為、その頃は彼の姿勢が白人に迎合していると批判する声も多くあり、一方ニュー・オルリンズに残り昔通りのスタイルを続けていたジョージ・ルイス一派の方を評価するいけんが強くなりました。

しかし彼が白人に受けた事がその後の世界を大きく変えたのです。其れ迄黒人が黒人の為に演奏していたレイス・ミュージックから、白人に受け入れられた事によりジャズがポピュラーな音楽になったのです。ルンバのザビア・クガートにしる、マンボのペレス・プラードにしるポピュラーになる為に必要な条件は白人に受ける事だったのです。

勿論そこには高い演奏技術—彼が開発したトランペット技術は数多くある、ポピュラリティのある高い音楽性、ボーカル力等々の力の裏付けがありました。それにも増して大きかったのは彼の音楽、演奏に対する姿勢とキャラクターでした。

新しいエンターテインメントが飛躍する為にはロックに於けるプレスリ—の様にそれを代表する人間の強烈なキャラクターが必要な条件でした。

ジャズが北部の白人(映画グレン・ミラー物語、5 つ銅貨等で見られる)に受ける事でジャズがアメリカでポピュラーな音楽になり、世界中に広まり、アメリカが生んだ最大の芸術になりました。(完)

昭和 39 年慶応義塾大学 政治ご卒業 (WJF 賛助会員)



7月4日は、サッチモの『旧お誕生日♡!!』 その伝説の裏側に迫る!!!

発見された新事実!

ルイ・アームストロングの誕生日は、長年1900年のアメリカ独立記念日、7月4日とされ、ルイ自身も、なくなるまで誕生日は1900年7月4日生まれとしていました。

しかし、1980年代になってナントその日付が間違っていたことが分かったのでニューオリンズで初めてジャズを演奏し始めたと言われている、コルネット奏者バディー・ボールデン。この伝説のジャズ王のリサーチをしていた研究者、故タッド・ジョーンズ氏が、偶然ある教会の洗礼記録の中にルイ・アームストロングの名前を見つけました。新発見によると、ルイの誕生日は、今まで信じられてきた日付の約1年後の1901年8月4日でした。

一体どのようにして、こんな誕生日の間違いが起こったか、、、そこには、前ページで佐藤修さんが指摘されたような、『下駄をはかせた』事実があった様です。

.....ジャズパイオニアのトロンボーン奏者、ルイより15才年上のキッド・オリー(1886年生れ)の娘さん、バベットさんがお父さんの残した資料の中から、この驚くべき音楽家ユニオン宛の書類を発見しました!!

事情はこうです、

キッド・オリー・バンドのコルネット奏者は1918年当時、キングと呼ばれた名手、ジョー・オリバーでした。コルネット奏者のジョー・オリバーが、オリーとの仕事中に地元ギャングとのトラブルで何度も逮捕された後、怖くなって1918年にシカゴに移ると、若い天才ルイ・アームストロングが彼の代わりを務めました。バンドはクレイボーン・アベニューのクラブ、ピート・ララズ・シアターで演奏し、非常にポピュラーになりました。

しかしサッチモは1901年8月4日の生まれの17才で、当時、まだナイトクラブで演奏できる年齢、18才になっていませんでした、、、そこで、オリーが捏造したのが、、、この1900年7月4日生まれの届出書類、ルイの年齢に一歳”下駄”をはかせて、18才の法廷年齢にとどくようにした、、、と言う訳です。ここから、ルイの誕生日は7月4日、と言う伝説が始まった、歴史的な記録です!! バベットさん、、、ありがとう。



キッド・オリー、バベットさんと、外山喜雄、恵子
1968年1月 移民船ぶらじる丸でニューオリンズへ向かう途中、ハワイ・ココヘッドのご自宅

Faked application from my dad Kid Ory for Louis Armstrong stating he was born in 1900 so he could be of legal age to play his first gig in my dad's band taking the King Oliver chair as Oliver had left for Chicago.

And the myth of 4th of July 1900 was Born,

We know now 4Aug 1901 **娘さんのバベットさんより**

REGISTRATION CARD									
SERIAL NUMBER	928				ORDER NUMBER	4177			
1	Lewi		Armstrong						
PERMANENT HOME ADDRESS:									
1233 Puidido St. C. O. La									
Age in Years	Date of Birth								
18	July 4th		1900						
RACE									
White	Negro	Oriental	Indian		Citizen				
U. S. CITIZEN									
Native Born	Naturalized	Citizen by Father's Naturalization Before Registrant's Majority		Declarant		Non-declarant			
10	11	12		13		14			
I am a citizen of the U. S., of what nation are you a citizen or subject?									
PRESENT OCCUPATION					EMPLOYER'S NAME				
Musician					Peter Laly				
PLACE OF EMPLOYMENT OR BUSINESS:									
1500 Conhill. C. O. La									
NEAREST RELATIVE									
Name		Mary Armstrong mother							
Address		1233 Puidido St. C. O. La							
I AFFIRM THAT I HAVE VERIFIED ABOVE ANSWERS AND THAT THEY ARE TRUE									
L. M. G. O. Form No. 1 (11ed) Louis Armstrong									

17歳のルイがピート・ララのクラブで、出演できるように、キッド・オリーが、虚偽の誕生日で提出した申請書。筆跡は、ルイ・アームストロング本人の物。母の名前、自宅の住所に加え、人種欄には、白人、黒人、東洋人、インディアンの区別が、、、!

表紙のCD ルイと聖書 ユニバーサル UCCV-3067

会員募集中

=WJF 年会費=

一般会員 (General Membership)	¥6,000
学生会員 (Student Membership)	¥3,000
賛助会員 (Friends of Louis Armstrong)	¥12,000

■会費のお振込先■

郵便振替 00110-4-415986

ワンダフルワールド・J・F

銀行振込 三菱東京UFJ銀行浦安駅前支店

普通:5175119“ワンダフルワールド”

お問い合わせ:WJF事務局

TEL:047-351-4464

FAX:047-355-1004

Email:saints@js9.so-net.ne.jp

日本ルイ・アームストロング協会 HP

訃報 ご冥福をお祈りいたします。

改めて次号会報で、謹んで追悼特集記事を掲載させていただきます。

ジャズ界が大変お世話になった3人の先生方が、突然ご逝去されました。セインツの演奏するニューオリズ式のジャズ・フューネラルで、皆様をお送りできたこと、お役に立てて光栄でした。大変お世話になりました。謹んでご冥福をお祈りさせていただきます。

ジャズ評論家、瀬川昌久先生（2021年12月29日ご逝去、お別れ会22年4月6日）

元自治大臣 日本ジャズ音楽協会会長
石井一先生（2022年6月4日ご逝去、東京お別れ会6月7日、神戸お別れ会6月18日）



護国寺桂昌殿、瀬川先生のお別れ会でのジャズ葬式

医学博士中村宏先生

（2022年6月6日ご逝去、6月13日お別れ会）



中村先生ご夫妻の親友、ヘレン・メルルさんを囲んで。外山恵子、磯野博子様、奥様中村美代子様、中村先生、渡辺玲子様、ヘレン・メルルさん。2009年5月東京ブルーノートで



瀬川先生も、石井先生も、中村先生も、セインツの演奏で一生愛され続けられたジャズのリズムと共に旅立たれました。

編集長から

サッチモ生誕&没記念年における、WJFの情報発信がメディアへの大きな波及効果を及ぼしています。▼6月、東京新聞12回連載、外山恵子の『私の東京物語』が大好評。幼少期を過ごした井之頭公園の思い出、ジャズに出会った早稲田の街、ジャズ武者修行のニューオリンズ5年間、帰国後にWJFを設立、「銃に代えて楽器を！」の半世紀におよぶ物語は、沢山の感動と共感を呼びました。連載記念の七タコンサート、および、8月中野で開催の写真展告知も同紙で報道されました。▼サッチモのジャズがテーマとなった、NHK朝の連ドラ『カムカムエブリバデー』に、米国博物館から感謝状が贈られることが共同通信NY総局から配信され、日本外国特派員協会で、NHKに感謝状が贈呈されました。産経新聞は、同番組によるサッチモへの注目を社会現象として報道。▼3月、NHKFM『眠れぬ貴女へ』時間番組に出演した外山夫妻は、サッチモに寄せる思いを語り、東京FMは、長寿番組『ジェットストリーム』で外山夫妻の共著『ニューオリンズ行進曲』の世界を5夜にわたって紹介しました。▼ライブ演奏も再開されつつありますが、コロナ終息宣言が待ち遠しいこの夏です。（山）